

# 磐城時報

編輯 石城郡平野町野田 弘成  
印刷 石城郡平野町野田 弘成  
發行 石城郡平野町野田 弘成  
電話 石城郡平野町野田 弘成  
郵政 石城郡平野町野田 弘成  
代金 石城郡平野町野田 弘成  
廣告 石城郡平野町野田 弘成  
印刷 石城郡平野町野田 弘成  
電話 石城郡平野町野田 弘成  
郵政 石城郡平野町野田 弘成  
代金 石城郡平野町野田 弘成  
廣告 石城郡平野町野田 弘成

## 明年から磐城丸 自由に話し出される

### 當業者大喜び

小名濱水産試験場では従来所有に困りきつてゐるに鑑み、同場が試験場に送話機がなから學校その他郡内の有力者を招き、つたため同船よりの報告はわかこれ等失業者の善後策を講じ、並に先方に對して通話をなす事力を仰ぐこととなり、近く平野町第一小學校に會合を催す筈で、目下たので豫て設置方縣に交渉中の夫れ、準備を進めてゐる。

## 世界の兒童 作品展覽會

平野町教育會では来る二十二、三、四の三日、同校児童唱歌會を同午一時から郡内教育會に對する講演會を開くので、二日間、第一校空前の賑ひを見せるのであらう。

## 遠洋漁業通信に 傳書鳩を用ふ

### 四倉町菅波、鈴木兩氏が 本縣最初の試み

石城郡四倉町字新町漁業家菅波(五二)は未検査の貨物自動車末吉及び鈴木賢二の兩氏は今回、遠洋漁業状況速報を計るため、千原、小名濱間の貨物運搬を行つてゐる事十七日發覺平署で取調中である。

## 四倉信用總會 役員決定

四倉町信用組合總會は十七日午前九時より四倉座に開き組合長長谷川豊之助氏が各般の報告を述べ、役員改選を行ひ左の如く決定した。

## 營業士檢舉 貨物自動車

石城郡小名濱町字橋本小野徳次

## 磐城共濟病院で 田村に巡回診察

### 五博士打揃つて出張

平野町共濟病院では去る十月の如く五博士打揃ひ外に藥劑士二十一日次城縣大津町外二町六看護婦十數名が出張すると。出張醫員(内科)醫學博士難波、醫學博士中西林藏(外科)醫學士氏家憲介、醫學博士桂重次(産婦人科)松枝茂(耳鼻咽喉科)醫學士井上俊次、醫學博士渡部貞助(眼科)賀澤忠治

## 爆薬に掘り當て 坑夫二名重傷

### 入山炭礦の椿事

石城郡湯本町大字湯本字傾城居事を自白した、同人は脱獄の後住山形縣西村山郡本郷村生れ入瀬ノ上、桑折町方面に十日程山炭礦第四坑高橋留五郎方後山伏し庭坂驛から二本松驛まで貨車に乗り逃走し、二本松驛から仙助(三七)と共に十五日午前十一時十分頃坑内で仙助がダイナマイトを使用して爆破した箇所を掘り當てて掘り當てた際、不爆のダイナマイトが残つてゐたため、燃焼爆發し仙助は両手に重傷を負ひ、義丸は爆發物のため全身に負傷し入山病院で加療中であるが生命危篤である。

## 詐欺常習犯 平署で取調

### 石城郡飯野村大字下荒川農志賀

石城郡飯野村大字下荒川農志賀(五九)は本月一日午後一時頃同郡神谷村大字中神谷飲食店庄吉に稻掛用材を賣却し、代金十六圓五十錢を受取る際、庄吉から十圓紙幣二枚を出され、釣銭がないから三圓五十錢を貸して呉れと巧に欺いて借受け、返済せぬので調査したところ各用材の賣買など眞赤の偽り、詐欺せられたことが判明、平署へ引致取調を受けたが、志賀は詐欺常習者である。

## 大浦生れの 脱獄囚捕はる

### 福島刑務所を三月八日夜脱獄し

石城郡大浦村字小橋生れ脱獄囚、因若松喜一(二三)に對しては縣返済せぬので調査したところ各用材の賣買など眞赤の偽り、詐欺せられたことが判明、平署へ引致取調を受けたが、志賀は詐欺常習者である。

## 炭壁崩れ 背骨を折る

### 石城郡磐崎村大字湯長谷磐城炭

石城郡磐崎村大字湯長谷磐城炭礦小野田坑坑夫落合一(四)は十六日午前十時頃同坑第三斜坑で採炭作業中岩壁崩壊し、背骨を折り小野田病院で加療中であるが生命危篤である。

## 緑川氏逝く 四倉驛前

### 小泉屋事縁川藤吉氏は昨十六日

午後七時頃永眠した、享年五十六、氏は日露戦争時南山の激戦に功あり金鶏勳章を授けられた人、その死を惜しまれてゐる。葬儀は十八日午後二時出棺、四倉海蔵寺に於て佛式を以て行ふ筈。

## 番頭の喧嘩

### ビール場で殴る

平野町旅館丸新館方番頭菅井市次郎(二〇)は十七日午前十一時頃同町八幡屋旅館裏に於て八幡屋方番頭石山丑松(五〇)に貸がある事から口論となり丑松の頭部をビール場で殴り其場に昏倒せしめて逃走したので平署で行衛隊探中である。

## ハガキ集

### (投稿歓迎)

〇〇町議は平野の水道と見れば目の上のコブ的に邪摩にする、夫れは陰に電燈會社を實現せしめて例の利権屋となり一儲けせん野心の爲めだとは、飽迄も我利主義の、三万町民の大敵である。要心々々(花の山生)目下問題となつてゐる金解禁に付き、余り平野町議者は眠つてゐる。様である、是れ大なる社會問題であるから一般に諒解の出來得る様十三日會なり聚樂館なり通俗的の講演會を開催されん事を熱望します(岸柳生)四倉〇町の名家〇〇氏の娘さん、色氣盛りの十七八才でござい、戀しき男とまじわりをむすんだかはしらないが早や六ヶ月とは驚いた、昔の人の云つた、箱入娘に虫が附くとよく云ふたものだ(長耳生)

### 家賃値下げ 勸告生に與ふ

池 知 (生 投)

勸告生の一文を見てうんざりして終ふ、棚から落ちる阿ものかを待つて居る様だ、曰く阿呆待ちと云ふ、値上げ、値下げは家主の自由だ、如何に世相の流れが行くべき所に行かう共余輩は勸告生の様に月並的な着想はしない、これこそ陳腐だ。

余輩は事を好むものに非ず、だが多くの人々の要求の聲に和して協調的にやつて行く事に賛する、只勸告生の様に事勿れの様には他人様から料理して貰ふことは余輩は不服だ、何故か？ 自己自家内の経済から出發して値下要求の聲は今の頃起つたものではない、一つの社會問題の核心になつてゐるのではないか。

借家人からの要求通り値下した、家主の自由意志によつて値下げを實行した、この半面を余輩はみる時に於て眞實に世相にはなれることの出来ぬ客觀的情勢と主觀的好意をみせんが爲めを二つを握ることとはいふ容易である。

家主の意志が封建時代的叫ぶ勸告生の意識は一体昭和の近代的か、余輩にして語らしめるならば、勸告生こそは近代ルペンと各付けよ、何故か縣下一の平町だなんてうぬ惚れして居る点など呆然たり、勸告生よ、もう一步進んで論陣を張つて下さい、余輩は獨身者で借家人の苦痛は他人の様には思はれて……

濟觀念が薄いのか、神經系のほうか赤井風に狎れてゐるか余輩は見當付かね。

ともあれ家賃値下げは緊急のものである、全借家人は歩調整へて協調的にやろ、何も大都市がやつたらから眞似するのでもない、生活經濟の起點より起る聲である、一指よりも五指の力は偉大なりと大西郷はいつた、聯盟を作り完成の日まで、勸告生よ、その陣頭の旗手たらん事を希望しつゝ、ペンを擱く。(暴言多謝)

佛國マルソー會社元詰  
**生葡萄酒**  
マルソー・ブランク・白 ¥1.10  
マルソー・ルージュ・赤  
良品にして安價賣行飛ぶが如し  
**西村屋藥局**

**時報文藝**  
▲たむけの花 末坊  
昨日は何かのしるい花  
今日は何かのあかい花  
明日は何かのあをい花  
亡き母さまにたむけよと  
たむけよと  
何かの花をさがしつゝ、きつと一度はのぼりますうしろの山へきつと私はのぼります。

電話、水道附  
**商店向貸家**  
(家賃十七圓)  
平町字新川町三十番地  
平町 新川町  
**中野勇吉**  
電話一三三番

榮共ト存共△  
融金ノ易商△  
蓄貯ノ味趣△  
堅ト意誠△  
町田植 社本  
會商 無城 啓  
電話一三三番

**腸胃** 専門 内科  
十二指 腸胃病 胃性病  
婦人病 皮膚病  
**村松**  
院 醫科 (七〇一話電 町 南 平)

**毒梅** 専門 皮膚病  
驚いた!!!  
こうまで安いとは  
平・加納活版所の印刷物

液体空氣會社製(酸素含有量百分中)  
(東京工業試驗所長證明)  
**吸入用酸素酸素吸入器**  
**正確体温器寒暖計**  
特約店 開内藥局  
電話四〇番

**防寒!!**  
眞綿入毛シャツ  
眞綿入都巻  
婦人シヨール  
マガレットオーバー  
メリヤスシャツ  
等々……流行と經濟とを兼ねた防寒具の色々……  
平町四丁目 電話一四〇番  
**ツヤルツ 店商**

御心配は御無用です  
淋病、消渴、膀胱カタル等の諸症  
偉効ある  
**優秀新薬トリックス**  
を御試し下さい 定價二圓・三圓・五圓  
特約店 平町五丁目角 **山野邊藥局**

**耳鼻咽喉科** 専門  
平町仲田町七一  
**合津醫院**  
電話五九五番

福島縣平町  
**山崎合名會社**  
電話(營業部専用)一〇番  
電話(一般用)二七番  
振替東京一九七五五番  
上野車坂四三  
**東京支店**  
電話 下谷五七一二番  
振替東京六八三一二番

**石炭の特賣**  
當店小賣部開設三週年紀念として特賣致升  
磐城炭礦 正味十貫目金六十錢  
一等塊炭 炭價は日に向上致しますが今回特に金六十五錢の品を金六十錢に値下致し升  
品質の優良は當店の特色です  
平 驛 前 **阿部石炭商店**  
電話二三七番 配達は一俵より致し升

**科外 門 專 X光線科**  
上田外科醫院  
電話一八九番

通學服 最上品  
小 (長) 一號 二號 三號 四號 五號  
二號 三號 四號 五號  
一號 二號 三號 四號 五號  
中 六號 七號 八號 九號 十號  
三圓八十錢 四圓 四圓二十錢 四圓四十錢 四圓六十錢  
平四丁目 驛前通り  
**正札堂**